

# 市政を問う

# 一般質問

## 一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をたずねることです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、23人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

- (政和)=政和会
- (公明)=市議会公明党
- (フォ)=フォーラム小平
- (生ネ)=生活者ネットワーク
- (共産)=日本共産党小平市議団
- (市自)=市民自治こだいら

## 行政一般

公金による負担金支出先の団体運営は適切に行われているか

常松大介議員(フォ) ①市が負担金を支出しているすべての団体において、負担金の支出根拠は明確に示されているか。

②一度加入した団体に引き続き加入するか否かについて、検討したことはあるか。

市長 ①負担金額は各団体の会則や規則、毎年の通知などにより示されるものがあるが、いずれの場合もそれらの内容を確認して支出している。

②予算編成において加入の目的や効果などをもとに見直しに取り組み、予算査定においては事業仕分けの結果なども踏まえながら検討している。

小平市行政サービス民間提案制度について

滝口幸一議員(フォ) ①本年6月から実施される本制度は、市が直営で実施している行政サービスについて民間事業者やNPO法人等に参入する機会を設けるもので、さらなるサービス向上等に期待がかかるが、制度は広く認知されているか。

②どのような事業が対象となると想定しているのか。

市長 ①平成22年6月21日からの提案募集開始に当たり、市報等での広報はもちろん、小平商工会等の各種相談機関に働きかけ、募集していきたい。

②民間事業者等の発想で創意工夫のある提案があればと考え、特定の事業を想定していない。

平和関連事業は共産党との政策協定に基づき予算化したのか

鴨打喜久男議員(政和) ①平和関連事業を新規事業として予算化したのは、政策協定によるものか。

②学校で思想を押しつけてはならないと思うがどうか。

③平和事業は市民の自主性に任ずることが公正かつ民主的では。

市長 ①マニフェストで事業を検討しますとし、これを市の施策として位置付けたものである。教育長 ②学習指導要領の通り適切な指導を行っている。

市長 ③市が指導的立場で施策を実施するのではなく、市民が自発的に行動を起こすことで平和への大きな流れにつながっていくものと認識している。

行財政改革のこれからについて

日向美砂子議員(生ネ) ①事業仕分けに施策評価や事業計画等を参考にしているか。

②ニーズを読み取るデータ分析や説明する際のデータ活用

に対する職員のスキルアップは。市長 ①施策評価票、第三次長期総合計画等を参考に実施計画等に配慮しつつ、さまざまな角度から検討している。

②企画立案能力等を養成する政策形成研修、プレゼンテーション研修、政策研究プロジェクトの実施を通じ職員の能力向上を図っている。

地上デジタル放送の電波障害等への小平市の対応について

虹川浩議員(公明) ①市内で受信障害が懸念される地点を把握しているか。

## 公園・用水

みどりの基本計画2010をいかしたまちづくりを

平野ひろみ議員(生ネ) ①屋敷林保存についての考えは。

②用水路の再整備計画は。

市長 ①市民が身近に親しめる保全手法を検討するとともに、相続税軽減などの優遇措置を引き続き国や都に要望していく。

②流水復活を進め、用水路の親水緑道整備、用水路沿いの公園の親水整備、用水路を活用した水辺空間の整備を図っていく。

③健全な森をめぐむための基礎資料として活用するともに、市民が支え、質の高いみどりを維持するための活動のきっかけとしたい。

小平市の用水路について

川里春治議員(政和) ①用水路の全長と水が流れていない用水

家庭の園芸土の再利用を進めるべき

浅倉成樹議員(公明) ①処分状況の認識は。また、回収要請へのアドバイスは。

②園芸土が生ごみとして捨てられるケースはあるか。

③再利用の事業化は。

市長 ①市民の処分方法は把握していない。問い合わせには購入店等に相談してもらおうか、回収している業者を紹介している。

②把握していないが混入による問題は生じていない。

③他自治体を参考に、市民ニーズや環境保全、市民協働等の多角的視点で研究を進めたい。

関野用水路跡地を活用した通路の整備は進みましたか

橋本久雄議員(市自) ①用水路跡地の整備状況は。

②この地域全体の安全対策をどう検討し、実施してきたか。

市長 ①隣接地権者への説明と協議をお願いしてきたが、緑道化に向けた理解を得るまでには至っていないために本格的整備をした場所はないが、全長約880メートルのうち約390メートルを暫定整備した。

②この地域は五日市街道に歩道がないため、南側に隣接している玉川上水の緑道を利用して、歩行者の安全確保のためにも、道路北側に歩道を設置するよう市長会を通じ都に要望している。

玉川上水に設置された緑道照明は植生に配慮した工夫を

橋本久雄議員(市自) ①喜平橋から小金井橋までの緑道照明



玉川上水緑道の照明(回田町)

を基準にしたのか。

②植栽への影響を抑えるため、照明の南側部分を目隠しできな

いか。

市長 ①玉川上水は歴史環境保全地域に指定されており、植生などに対する配慮が必要なこと

から設置に向けて都と調整を行ったが、明るさについての基準は特に定めていない。

②今後、現状の把握と課題の整理に努めていきたい。

街区公園など市立公園のバリアフリー化は適切か

佐藤充議員(共産) ①車いす等で入りづらい公園の数は。

②バリアフリー化のための改善

市民活動支援と公共施設の使用について

苗村洋子議員(生ネ) ①受益者負担の適正化検討委員会の検討結果では減免制度が見直されているが今後のスケジュールは。

②減免の見直しは市民活動を阻害する要因になるのでは。

善計画は。市長 ①平成9年1月以前に開園した222の公園の大半は、東京都福祉のまちづくり条例の公園の出入り口の整備基準を満たさないことを認識している。

②年次的には定めてないが、公園のリニューアルで全体を改修する場合や入口の雨水処理対策等の改修をする場合に、都条例の基準に適合するよう出入り口等を順次改善している。

市民に理解される保存樹林を目指して

石毛航太郎議員(フォ) ①保存樹林の条例上の定義は。

②市有地と私有地の保存樹林の数は。そのうち立ち入りを禁止している数は。

③立ち入り禁止の理由は。

市長 ①高さが5メートル程度以上の樹木の集団で、面積が30平方メートル以上のもので定義している。

②市有地は3か所、私有地は19か所ある。立ち入りを禁止しているのは市が1か所、私有地は18か所ある。

③自然環境の維持と不法投棄により美観が損なわれないようにするためである。

## 公共施設

市長 ①9月頃に方針案を公表し、パブリックコメントを実施して12月までに決定したい。

②報告書の減免基準では市民団体には使用料の50%を減額し、地域社会に利益を還元する活動を行う団体にはより高い減額率を適用することから阻害するものではないと考える。